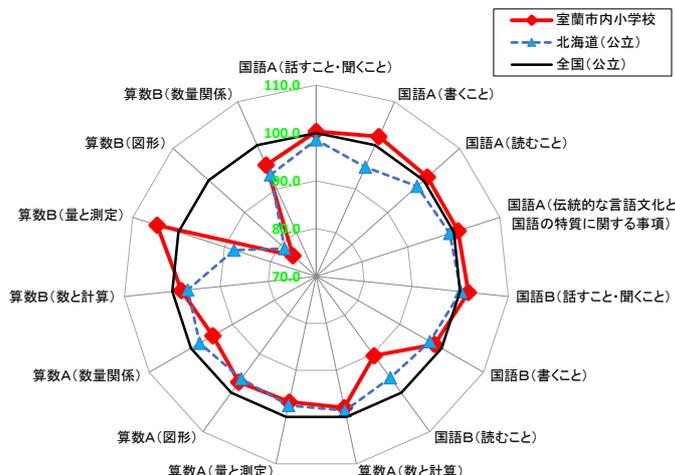


## ■室蘭市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:15校、児童数:601人)

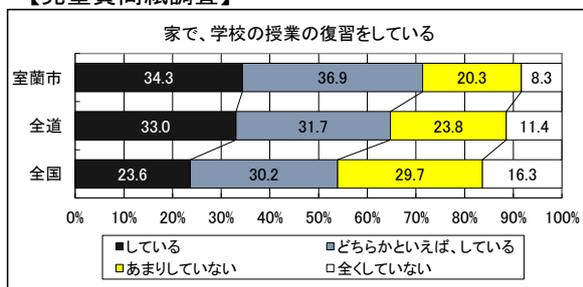
### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものです。すべての学校が後日実施のため、目安として示しています。  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

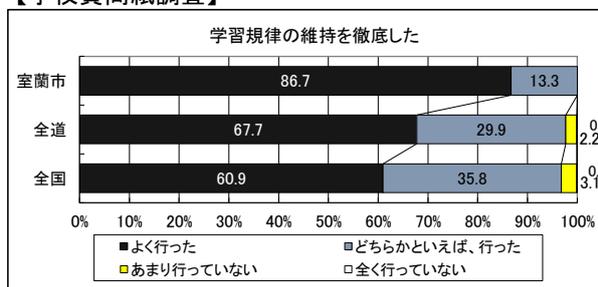
※室蘭市内小学校の状況等については、天候の影響により後日実施した15校の調査結果を示しているため、他の市町村ページと掲載内容が異なります。



### 【児童質問紙調査】



### 【学校質問紙調査】



### 【分析】

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 教科    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「書くこと」が他の領域より高くなっている。</li> <li>○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」が他の領域より高くなっている。</li> <li>○ 算数Aでは、「数と計算」が他の領域より高くなっている。</li> <li>○ 算数Bでは、「量と測定」が他の領域より高くなっている。</li> </ul> <p>※ すべての学校が後日実施のため、全国の平均正答率との差ではなく、領域別の状況を分析しています。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学力向上プラン」に基づき、各学校及び教育委員会が一体となって、生活習慣の改善や学習規律の徹底等に取り組んだことにより、学習習慣が身に付くとともに、学習する基盤ができたと考えられる。</li> <li>○ 学校において、授業のめあてを明確に示し見直しをもたせたり、授業の最後に学習したことを振り返り、まとめる活動を計画的に取り入れたりしたことにより、学習内容が定着し、基礎学力の底上げが図られたと考えられる。</li> </ul> |
| 児童質問紙 | ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。  |  |
| 学校質問紙 | ○ 「学習規律の維持を徹底した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。  |  |

### 【室蘭市の学力向上策】

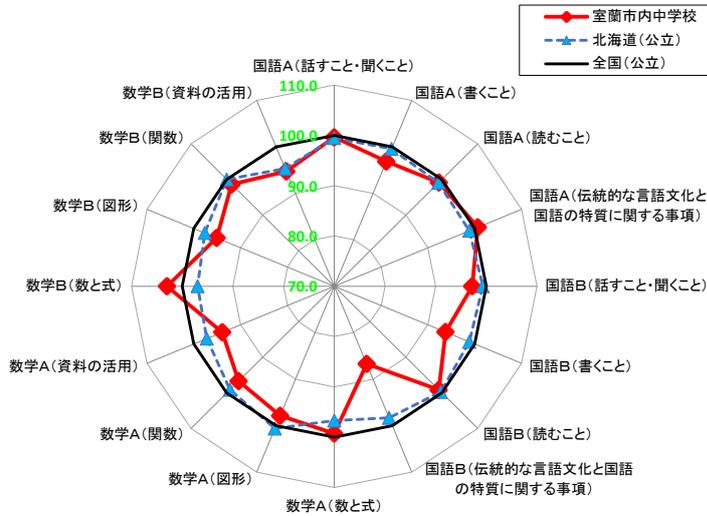
- ◎ 平成26年3月に策定した「第2期学力向上基本計画」の評価改善、市内小・中学校、教育委員会が一体となった確かな学力の向上の取組
- ◎ 教育委員会の取組としての本市独自の学力調査の実施、研究指定校事業、ICT活用推進事業等の実施、学習支援員の配置
- ◎ 室蘭市教育研究所の取組としての言語活動の充実及びICT活用に係る研究推進や研修講座の開催、道徳・外国語活動の教科化へ向けた調査研究、研修講座の開催
- ◎ 各小・中学校の取組としての第2期学力向上基本計画と連動した学力向上プランの推進(授業改善、校内研修の活性化、学習サポート、小中連携の強化、家庭における学習習慣の確立、学習環境づくり、学習規律の徹底等)

## ■室蘭市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、生徒数:659人)

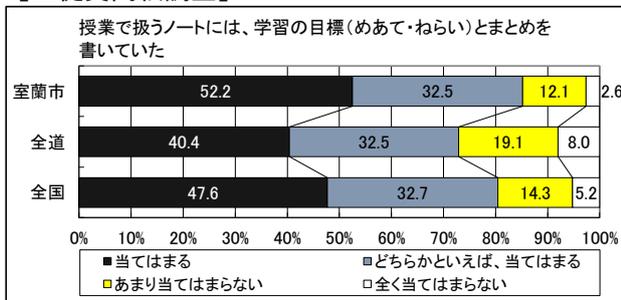
### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものです。  
※すべての学校が後日実施のため、目安として示しています。  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

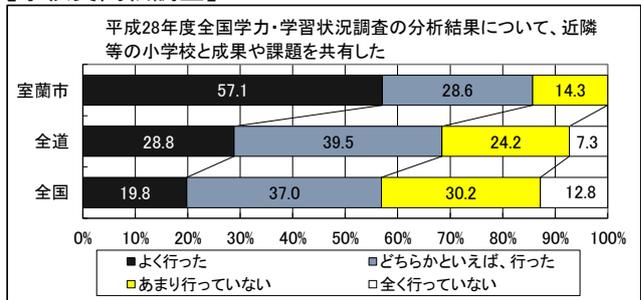
※室蘭市内中学校の状況等については、天候の影響により後日実施した7校の調査結果を示しているため、他の市町村ページと掲載内容が異なります。



### 【生徒質問紙調査】



### 【学校質問紙調査】



### 【分析】

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 教科    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が他の領域より高くなっている。</li> <li>○ 国語Bでは、「読むこと」が他の領域より高くなっている。</li> <li>○ 数学A・Bでは、「数と式」が他の領域より高くなっている。</li> <li>※ すべての学校が後日実施のため、全国の平均正答率との差ではなく、領域別の状況を分析しています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学力向上プラン」に基づき、各学校及び教育委員会が一体となって、授業改善、学習習慣の確立、小中連携の強化等に取り組んだことにより、落ち着いた態度で学習することができる環境が整えられたと考えられる。</li> <li>○ 学校において、小中共通の取組として授業のめあてを明確に見直しをもたせ、授業の最後に学習したことを振り返り、まとめる活動を計画的に取り入れたことにより、学習内容が定着し、学力向上が図られたと考えられる。</li> </ul> |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>  |  |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「平成28年度全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有した」学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>   |  |

### 【室蘭市の学力向上策】

- ◎ 平成26年3月に策定した「第2期学力向上基本計画」の評価改善、市内小・中学校、教育委員会が一体となった確かな学力の向上の取組
- ◎ 教育委員会の取組としての本市独自の学力調査の実施、研究指定校事業、ICT活用推進事業等の実施、学習支援員の配置
- ◎ 室蘭市教育研究所の取組としての言語活動の充実及びICT活用に係る研究推進、研修講座の開催(教科化へ向けた道徳・外国語活動に係る調査研究、研修講座の開催)
- ◎ 各小・中学校の取組としての第2期学力向上基本計画と連動した学力向上プランの推進(授業改善、校内研修の活性化、学習サポート、小中連携の強化、家庭における学習習慣の確立、学習環境づくり、学習規律の徹底等)